

1. 調査研究のテーマ、概要

調査研究のテーマ	自他を大切にし、実践力を身に付けた児童生徒の育成
----------	--------------------------

○調査研究のテーマを設定した目的

ア 本県における人権教育の取組と推進上の課題

本県では平成２８年の熊本地震からの“創造的復興”を目標に掲げ、全庁を挙げて取り組んでいる。人権教育においては、「人権教育の指導方法等の在り方について〔第三次とりまとめ〕」をはじめ、「熊本県人権教育・啓発基本計画（第４次改定版）」、「熊本県教育振興基本計画（第３期）」に基づき、毎年度、各学校等に対して「人権教育取組の方向」等を示し、人権教育を推進してきた。

また、平成２３年度から本事業を活用しながら〔第三次とりまとめ〕に示された理論と実践の普及を目指し、毎年度、研究校を指定し、人権尊重の精神に立った学校づくりを推進してきた。指導方法等の工夫・改善については、県教育委員会作成の指導資料の活用により着実に成果を上げているものの、自他の人権を大切にし、実践行動のできる児童生徒を育成する授業については十分ではない。

イ 今日的な課題

学校教育においては、学習指導要領の前文において「一人一人の児童（生徒）が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切りひらき、持続可能な社会の創り手となることができるようにすること」が示されており、本県が目指す人権教育の目標と重なる。

また、子供を取り巻く現状を見ると、いじめや不登校、虐待、貧困等、厳しい状況にあり、人権尊重の精神の涵養を図る人権教育の必要性が高まっている。

加えて、教職員の大量退職時期を迎え、経験豊富な教職員のこれまでの教職経験で培った人権教育における認識や手法を、若手教職員をはじめ全職員で共有していく必要がある。

以上のことから、〔第三次とりまとめ〕に示された理論と実践、学習指導要領等の趣旨を踏まえ、人権教育の指導方法等の工夫・改善に係る具体的な実践事例を収集し、広く県下に普及させて各学校の人権教育の充実を図る必要があると考え、本調査研究のテーマを設定した。

○調査研究の概要

本研究は、[第三次とりまとめ] に示された理論・実践と学校教育目標の達成に向けた様々な取組のうち、学校教育として取り組むべき人権教育の課題や方向性について概括的な整理を行った上で、人権尊重の意識を高める授業づくり、児童主体の活動、五者による連携（子供・学校・家庭・地域・行政）を視点とした取組の有効性とその成果、課題等を明らかにするものである。

2. 基本情報

研究指定校の概要

○学校名

水俣市立袋小学校

○これまでの研究指定等の状況

○学級数

8 学級（うち特別支援学級：2 学級）

○児童生徒数（R.6.1.31）

全児童数：155 名

○URL

<https://es.higo.ed.jp/fukuroes/>

○指定理由

当該小学校区は、水俣病患者の多発地帯である湯堂港、茂道港、袋湾を抱え、長年にわたり水俣病や水俣病に対する差別による苦しみを味わってきた地域である。

そのため、校区内には、水俣病患者やその家族が多く生活するとともに、水俣病歴史考証館や乙女塚等の水俣病に関する施設も多数存在している。

このようなことから、当該小学校は、水俣病学習を人権学習の中心に据え、水俣病患者との交流や地域との関わりを深めてきた。

令和4年度からは、学習指導要領の趣旨にのっとり、主体的・対話的で深い学びの実現に向け、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図るよう取り組んでいる。

しかし、「心のアンケート」（本県実施）等の調査からは、自己肯定感が低いという課題が見られる。また、学年単学級で、中学卒業まで同じメンバーで生活することにより、人間関係が固定化する傾向が強い。さらに、一人一人の児童が自らの興味・関心に基づいて主体的に学習を行うことが十分でない状況も見られる。

以上のような実態を踏まえ、人権に関する知的理解や人権感覚を養い、自分のよさを認め、他者を共感的に理解する意識・意欲・態度を育てるなど、一人一人が大切にされる人権尊重の精神にのっとりた教育活動により学校の課題解決を図る取組を推進させるため、当該学校を研究指定校とした。

○取り組んだ人権課題について

該当するものに○印、最も主要な人権課題1つに◎印を付与

①子供	◎
②女性	
③高齢者	
④障害者	
⑤ <u>同和問題</u>	○
⑥ <u>アイヌの人々</u>	
⑦ <u>外国人</u>	
⑧- 1 HIV 感染者等	
⑧- 2 <u>ハンセン病患者等</u>	
⑨刑を終えて出所した人	
⑩犯罪被害者等	
⑪インターネットによる人権侵害	○
⑫北朝鮮当局による拉致問題等	
⑬性的指向、性自認	
⑭その他（水俣病をめぐる人権）	○

3. 調査研究の内容等

○調査研究の内容

ア アンケートの結果から見える課題

令和4年度全国学力・学習状況調査（児童質問紙）や、令和4年度「心のアンケート」の結果によると、自尊感情の高まりや他者を共感的に理解しようとする態度に課題が見られることがうかがえる。

（肯定的意見）

質問内容【全国学力・学習状況調査】	本校	全国	全国平均との差
学校に行くのは楽しいと思いますか。	75.0	85.4	－10.4
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。	50.0	73.5	－23.5

質問内容【心のアンケート】	R4	R3県平均	R3県平均との差
あなたは誰かの役に立っていると思いますか。	63.4	73.6	－10.2

（ア）児童の実態から

- ・自己有用感、自己肯定感が低い傾向にある。
- ・他者を認め、共感的に理解しようとする態度に課題がある児童も見られる。
- ・自分を表現し、他者と協働するなど、コミュニケーション力が弱い傾向にある。

（イ）教職員の実態から

- ・「人権教育を通じて育てたい資質・能力」や「人権が尊重される授業づくりの視点」の理解に個人差がある。
- ・「人権が尊重される人間関係づくり・雰囲気づくりのための環境整備」について、研修及び工夫・改善を行う必要がある。
- ・「部落差別（同和問題）」をはじめとする様々な人権課題に対する指導を重ね合わせて行うための研修及び工夫・改善を行う必要がある。
- ・育成を目指す資質・能力の視点を持って各教科等の指導を行うなど、教科等横断的な教育活動を行うことに個人差がある。

イ 仮説

○ 仮説1（育成を目指す資質・能力の視点をもとにした人間関係づくり）

全ての教育活動において「人権教育を通じて育てたい資質・能力」を位置付けて取り組むことで、自他を認め、共感的に理解し、主体的に学び続ける意欲をもった児童が育つであろう。

○ 仮説2（人権尊重の精神に立つ授業づくり）

「人権が尊重される授業づくりの視点」を教科等横断的に取り入れ、一人一人が大切にされた授業を行うことで、自分のよさがいかされていることを実感し、友達のよさを認め、更に学び続けようとする児童が育つであろう。

○実施方法

ア 具体的な手段や実施方法

(ア) 仮説1について

- ・ 日常の活動や学校行事等、全ての教育活動に「人権教育を通じて育てたい資質・能力」を具体的に位置付け、それを教職員で確認するとともに、児童とも共通理解を図って取り組んだ。
- ・ 活動後に、設定した資質・能力について、振り返りを行った。

(イ) 仮説2について

- ・ 毎時間、全ての授業において「人権が尊重される授業づくりの視点」を位置付け、授業後は、その振り返りを行った。
- ・ 常に「人権教育を通じて育てたい資質・能力」や「人権が尊重される授業づくりの視点」を基盤とした各教科等における「見方・考え方」を設定して、授業を行った。
- ・ 児童一人一人の個性や興味に応じた指導や学習を行った。
- ・ 多様な他者とともに「協力的な学習」「参加的な学習」「体験的な学習」に取り組んだ。

イ 期待した効果

(ア) 児童にとっての効果

- ・ 自他の人権を尊重し、人権侵害を防止したり解決したりするために必要な実践的な知的理解の深化（知識的側面）
- ・ 多様性を肯定的に評価し、他者を共感的に理解しようとする意欲や態度の育成（価値的・態度的側面）
- ・ 良好な人現関係を築くための適切な自己表現やコミュニケーション技能の育成（技能的側面）
- ・ 学力の向上

(イ) 学校・職員にとっての効果

- ・ 学校全体（児童、保護者、地域、職員）における支持的風土の醸成
- ・ 授業力の向上
- ・ 「人権教育を通じて育てたい資質・能力」や「人権が尊重される授業づくりの視点」の理解
- ・ 保護者や地域への人権啓発

4. 検証・評価・改善・普及

ア 検証・評価・改善

・児童実態調査（学校生活についてのアンケート）の分析と活用（5月・7月・9月・12月実施）

質問項目	月別の肯定率(%)			
【知識的側面】	5月	7月	9月	12月
「すべての人が大切にされなければいけないこと」という決まりがあることを知っていますか。	65.8	75.5	79.7	82.6
学級みんなの好きなことがバラバラなのは、当たり前だと思いますか。	40.8	52.5	58.1	56.3
【価値的・態度的側面】	5月	7月	9月	12月
自分のよいところを3つまで書いてください。(1つ以上書けている児童)	65.8	72.6	70.9	68.1
授業で「やってみたい」「考えてみたい」「おもしろい」という気持ちがおきますか。	68.4	76.4	75.2	68.8
【技能的側面】	5月	7月	9月	12月
よく話をする人だけでなく、クラスの全員を大切にしていると思いますか。	58.6	56.3	66.4	68.1
自分と友達の意見が違うとき、友達の気持ちも考えていますか。	50.0	56.8	52.7	55.6

・「知識的側面」において、取組を開始した5月と比較すると、肯定率が向上した。

・「価値的・態度的側面」において、取組を開始した5月と比較すると、肯定率は次第に向上しているが、肯定率の伸び悩みが見られた。

・「技能的側面」において、肯定率の伸びが少なかった項目があった。このことから、今後も児童同士の交流や地域との交流の機会を可能な限り増やし、他者との関わりにおいて共感的人間関係を構築できるよう取組を継続する必要がある。

・日常の活動や学校行事等、全ての教育活動に「人権教育を通じて育てたい資質・能力」を位置付けたことで、児童に身に付けさせたい力を意識した学習活動を行うことができた。

・「人権が尊重される授業づくりの視点」を位置付けた授業を行ったことで、児童が対話を大切にしながら主体的に学習に取り組むようになった。

イ 普及

・研究指定校研究発表会の実施（令和5年11月21日）

- ・ 学校運営協議会への調査内容の公表
- ・ 授業参観や学級懇談会を活用した啓発
- ・ 学校だよりによる研究内容の公表や啓発
- ・ 研究の内容、経過及び結果の学校ホームページへの掲載
- ・ 熊本県教育広報誌「ばとん・ぱす」による広報・啓発
- ・ 熊本県教育庁人権同和教育課ホームページでの研究内容掲載

5. 人権教育に係る年間指導計画

第1学年 人権学習(中心的指導)年間指導計画

1 学年目標

相手の気持ちを思いやり、だれとでもなかよくする子供を育てる。

2 重点努力目標【(知)知識的側面 (価)価値的・態度的側面 (技)技能的側面】

- きめつけや偏見は間違った見方だと分かっている。(知)
 ○自分のよさを認め、みんなと仲良く遊ぼうとしている。(価)
 ○相手の立場や思いを受け止め、誰にでもやさしく声をかけることができる。(技)

3 人権学習年間計画

月	主 題 名	資 料	時間	領域	ね ら い	資質・能力
5・6 心の きずな を深める 月間	たいせつないのち		1	学活	・自分のいのちはつながっていることを知り、自分の命も他者の命も大切にする心情を育てる。 ※水俣病学習の視点①	【価】
	いやなこと		1	学活	・いやなことについてみんなで考え、身の回りの差別に気づき、差別しない態度を養う。 ※水俣病学習の視点②、⑤	【価】 【技】
	たのしいがっこう	めだかのめぐ (みんなの道徳)	1	道徳	・みんなと助け合うと楽しい学校生活を送ることができることが分かり、自分もみんなのためにできることを頑張ってやろうとする態度を育てる。 ※水俣病学習の視点⑥	【価】
11・12 人権 旬間	こころをつないで	ぼっかばか (みんなの道徳)	1	道徳	・あいさつをすることで自分も相手も気持ちよくなることに気づき、心と心が通い合うあいさつをしようとする態度を養う。 ※水俣病学習の視点③	【価】
	友達と仲良く	山のせいくらべ (熊本的心)	1	道徳	・相手の立場に立った言動や友達と助け合うことの大切さに気づかせる。 ※水俣病学習の視点②	【価】
	ともだちのいいところ		1	学活	・友達のいいところを知り、互いに認め合う態度を育てる。 ※水俣病学習の視点②	【知】
	人権集会を開こう		1	学活	・人権集会を開き、自他の人権を大切にしようとする心情を育てる。 ※水俣病学習の視点①、⑤	【知】 【技】
2・3 水俣病 学習月間	生命尊重	しゃくらんしゃく とがっこうにいく と(きずな)	1 1	学活 道徳	・水俣病の発生の仕組みを知る。 ・水俣病で苦しんでいる人たちの悲しみや苦しみが分かる。 ※水俣病学習の視点①、③	【知】 【価】
	ふれあい集会	(水俣市環境学習 資料集)	1	学活	・患者さんの話を聞く中で、顔や名前を覚えたりこれまでの経験を知ったりして、親しみを感ずる。 ※水俣病学習の視点①、②	【価】 【技】

※人権教育を通じて育てたい資質・能力

【知】知識的側面

【価】価値的・態度的側面

【技】技能的側面

第2学年 人権学習(中心的指導)年間指導計画

1 学年目標

相手のよさを認め、誰とでも仲良くしようとする態度を育てる。

2 重点努力目標【(知) 知識的側面 (価) 価値的・態度的側面 (技) 技能的側面】

- きめつけや偏見は間違った見方だと分かっている。(知)
 ○自分のよさを認め、みんなと仲良く遊ぼうとしている。(価)
 ○自分の立場や思いを受け止め、誰にでもやさしく声をかけることができる。(技)

3 人権学習年間計画

月	主 題 名	資 料	時間	領域	ね ら い	資質・能力
5・6 心の きずなを 深める 月間	あだな		1	学活	・自分の名前の由来を調べて発表することにより、お互いの名前を大事にし、相手を思いやる気持ちを育てる。 ※水俣病学習の視点⑤	【価】
	わたしのたんじょう (性教育)		1	学活	・自分の誕生を知ることで、命の尊さを感じるとともに家族への感謝の気持ちを持たせる。 ※水俣病学習の視点①	【価】 【技】
	みんなのことを考えて	黄色いベンチ	1	道徳	・自分勝手な行動が人の迷惑になることに気付かせ、きまりや約束を守り、みんなが使うものを大切にしようとする態度を育てる。 ※水俣病学習の視点②	【価】
11 12 人 権 旬 間	自分たちの暮らし	ぼくのだけ どうしてけるの (きずな)	1	道徳	・身近な人々に温かい心で接し、誰にでも進んで親切な行いをすることの大切さに気付かせる。 ※水俣病学習の視点②、⑤	【技】
	身の回りの差別		1	学活	・身の回りの差別に気付き、差別することなく認め合っていこうとする心情を育てる。 ※水俣病学習の視点⑤	【知】
	人権集会をしよう		1	学活	・人権集会を開き、自他の人権を大切にしようとする心情を育てる。 ※水俣病学習の視点⑤、⑦	【知】 【技】
2・3 水俣病 学習 月間	生命や自然の大切さ	水俣病のこと知ろう (心ゆたかに水俣・水俣市環境学習資料集)	1	学活	・水俣病の原因や発生の構造を知る。 ・水俣病はうつらない病気であること、人々の努力で、現在の水俣病は豊かで安全であることを知る。 ※水俣病学習の視点①	【知】
	ふれあい集会の 準備をしよう		1	学活	・胎児性水俣病について知る。 ・患者さんも自分たちも一緒に楽しめる遊びについて話し合い、その準備をする。 ※水俣病学習の視点③、⑤、⑥	【知】
	ふれあい集会を しよう		1	学活	・一緒に遊ぶことをとおして、患者さんの思いや願いを知り、互いに認め合っていこうとする心情を育てる。 ※水俣病学習の視点③、⑤、⑦	【価】
	町のすてきを つたえ合おう	水俣市環境学習資料集	3	生活	・磯遊び等を通して、生命や自然の大切さや自分の町のよさを感じ取る。(グリーンスポーツ) ※水俣病学習の視点①、④	【技】

※人権教育を通じて育てたい資質・能力

【知】知識的側面

【価】価値的・態度的側面

【技】技能的側面

第3学年 人権学習(中心的指導)年間指導計画

1 学年目標

お互いのよいところを認め、身の回りの差別に気づき、差別をなくしていこうとする子供を育てる。

2 重点努力目標【(知)知識的側面 (価)価値的・態度的側面 (技)技能的側面】

- 正しい知識をもち、差別や偏見に気付いたら間違っていることを伝える大切さが分かっている。(知)
- 自分や互いのよさを認め、仲間を大切にしようとしている。(価)
- 互いの考え方や立場、個性の違いを受け入れ、差別や偏見なく誰とでも関わることができる。(技)

3 人権学習年間計画

月	主 題 名	資 料	時間	領域	ね ら い	資質・能力
5・6 心の きずなを 深める 月間	ささえられている命	目の見えない犬	1	道徳	・自分の命がたくさん支えの中であることを知り、命ある全てのものを大切にする実践意欲を高める。 ※水俣病学習の視点①	【知】 【価】
	学級の問題について考えよう		1	学活	・学級の問題について話し合い、互いに認め合い、助け合っていこうとする態度を育てる。 ※水俣病学習の視点②	【価】【技】
	進んで助けよう	明るくなった友だち	1	道徳	・どんな友達であっても互いに理解し、困っているときには進んで助けようとする判断力を育てる。 ※水俣病学習の視点③、⑥	【知】 【価】
	男女なかよく		1	学活	・友だちのよいところを見つけることで、互いに認め合い、助け合っていこうとする態度を育てる。 ※水俣病学習の視点②	【価】 【技】
11・12 人権 旬間	学級の問題について考えよう		1	学活	・学級の問題について話し合い、互いに認め合い、助け合っていこうとする態度を育てる。 ※水俣病学習の視点②	【知】 【価】 【技】
	なまづくり	くつかくしのこと(きずな)	1	道徳	・勇気を持って気持ちを伝えることの大切さに気づき、自分の思いを伝えようとする心情を育てる。 ※水俣病学習の視点⑥	【知】
	差別について考えよう		1	学活	・身の回りの差別について考え、差別をなくしていこうとする態度を育てる。 ※水俣病学習の視点⑤	【知】 【技】
2・3 水俣病 学習 月間	わたしとぼくの命のはじまり(性教育)		1	学活	・赤ちゃんが生まれるとき、家族が協力していることを知り、一人一人の大切な命について考える。 ※水俣病学習の視点①	【価】
	胎児性水俣病の患者さんや家族の思いを知ろう	「おいちゃん」(きずな)	1	総合 学活	・胎児性水俣病の患者さんやその家族の苦しみを知るとともに、命の尊さに気づき、すべての命あるものを大切にする気持ちを育てる。 ※水俣病学習の視点①、③	【知】 【価】
	水俣の自然(海・山)を守ろう!		4	総合	・水俣病患者さんの思いや願いを聞き、自分たちにできることをやろうとする態度を育てる。 ※水俣病学習の視点①、⑤	【技】 【価】

※ 人権教育を通じて育てたい資質・能力 【知】知識的側面 【価】価値的・態度的側面 【技】技能的側面

第4学年 人権学習(中心的指導)年間指導計画

1 学年目標

差別や偏見に気づき、互いのよさを尊重し合い協力することのできる子供を育てる。

2 重点努力目標【(知) 知識的側面 (価) 価値的・態度的側面 (技) 技能的側面】

- 正しい知識をもち、差別や偏見に気付いたら間違っていることを伝える大切さが分かっている。(知)
- 自分や互いのよさを認め、仲間を大切にしようとしている。(価)
- 互いの考え方や立場、個性の違いを受け入れ、差別や偏見なく誰とでも関わることができる。(技)

3 人権学習年間計画

月	主 題 名	資 料	単 元	領 域	ね ら い	資質・能力
5・6 心のきずなを深める月間	どちらが正しいのかな	クラスたいこう全員リレー	1	道徳	・友だちと互いに理解し合い、助け合っていこうとする心情を育てる。 ※水俣病学習の視点②	【価】 【技】
	正しいことは自信をもって	友達が泣いている	1	道徳	・いじめを許さないという意味をもち、正しいと思うことを主体的に判断し、自信をもって実行していこうとする態度を養う。 ※水俣病学習の視点⑤、⑥	【価】
	育ちゆく体とわたし(性教育)	育ちゆく体と私	1	体育	・体の発育・発達の現象や思春期に起こる体の変化、男女の発育の違いなどについて理解する。 ※水俣病学習の視点①、③	【知】
	いじめのないクラスにするために		1	学活	・いじめのないクラスにするためにはどうすればよいか話し合い、仲間を大切にしていこうとする態度を育てる。 ※水俣病学習の視点③、⑤	【価】
11・12 人権旬間	正しい判断ができる心	こんびらさんのすもう(きずな)	1	道徳	・差別のおかしさに気づき、差別を絶対に許さない心を育てる。 ※水俣病学習の視点⑤	【知】 【技】
	深く思い合う友だち	泣いた赤おに	1	道徳	・友だちを深く思うことについて、多面的多角的に考え、自分が目指す友情観を見出すことで、友情についての実践的意識を高める。 ※水俣病学習の視点②、⑥	【知】
	学級の問題について話し合おう		1	学活	・学級の問題を話し合い、解決する。 ※水俣病学習の視点②	【技】
	人権集会を開こう		1	学活	・人権集会を開き、自他の人権を大切にしようとする心情を育てる。 ※水俣病学習の視点⑤	【知】
2・3 水俣病学習月間	家族について考えよう		1	学活	・いろいろな家族があることに気づき、自分も家族の一員として、みんな協力しようとする態度を育てる。 ※水俣病学習の視点②	【価】
	水俣病について考えよう	患者さんたちの苦しみ(心ゆたかに水俣)	1	学活	・患者さんとその家族の差別や偏見による辛さを感じ取り、患者さんに寄り添う大切さを知る。 ※水俣病学習③、⑤	【知】 【価】
	もうすぐ5年生		1	学活	・4年生での学習を振り返り、高学年として、どんなことに気を付けて生活すればよいかを考える。 ※水俣病学習の視点③	【知】

※人権教育を通じて育てた資質・能力

【知】知識的側面 【価】価値的・態度的側面 【技】技能的側面

第5学年 人権学習（中心的指導）年間指導計画

1 学年目標

身の回りの問題や差別を見抜き、自分のこととして考え、解決していく子供を育てる。

2 重点努力目標 【(知) 知識的側面 (価) 価値的・態度的側面 (技) 技能的側面】

- 水俣病差別の部落差別の現状を正しく理解し、あらゆる差別を許さないことの大切さがわかっている。【知】
 ○自分や互いのよさを認め高め合い、明るい心で生活しようとしている。【価】
 ○互いの考え方や立場、個性を認め合い、偏った見方や差別をせずに誰に対してもかかわることができる。【技】

3 人権学習年間計画

月	主 題 名	資 料	時間	領域	ね ら い	資質・能力
5・6 心の きずなを 深める 月間	限られた命	電池が切れるまで (みんなの道徳)	1	道徳	・「死は悲しみだけを残すものではなく、より強く生きていく力を与えてくれるもの」という考えに理解を深め、自分に与えられた命を精いっぱい生きていこうとする心情を育てる。 ※水俣病学習の視点①	【知】
	学級の問題について話し合おう		1	学活	・学級の問題について話し合い、互いに認め合い、助け合っていこうとする態度を育てる。 ※水俣病学習の視点②	【価】 【技】
11・12 人権 旬間	さわやかなマナー	どろだらけのユニホーム (みんなの道徳)	1	道徳	・周りの人々を思いやり、深く考えて場をわきまえた行動を取ろうとする態度を養う。 ※水俣病学習の視点②、⑥	【知】
	公正、公平、社会正義	ひとりの友だち (きずな)	1	道徳	・差別発言を受けたことで自分の差別性に気付き、考え、周りにつなげていく子の姿から、差別を許さない態度や仲間を大切にする態度を育てる。 ※水俣病学習の視点⑤	【価】
	相手の立場を考えて	すれちがい	1	道徳	・相手の立場や意見を尊重することの大切さが分かり、相手の立場に立って考え広い心で接しようとする態度を養う。 ※水俣病学習の視点②、⑤	【技】
	人権について考えよう		1	学活	・人権集会を開き、自他の人権を大切にしようとする心情を育てる。 ※水俣病学習の視点⑤	【価】
2・3 水俣 病学 習月 間	国境をこえて	ペルーは泣いている (みんなの道徳)	1	道徳	・外国の人々や文化について知り、世界の人々と共存していることを理解し、国際親善に努めようとする心情を育てる。 ※水俣病学習の視点③	【知】
	差別はゆるさない	この子とともに (きずな)	1	学活	・水俣や水俣病に対する差別や偏見の事象を通して、差別に立ち向かおうとする態度を育てる。 ※水俣病学習の視点④⑥⑦	【知】 【価】 【技】
	体の発育・心の発達 (性教育)		1	学活	・思春期になると心も体も自分らしさが出てくるとともに自立心も芽生えてくることを理解し、自己と同一ように他人を尊重する態度を育てる。 ※水俣病学習の視点③	
	生命の誕生 (性教育)		1	学活	・受精の仕組みや生命の連続性について知らせ、自分たちも親になることができるように体が成長していることに気付かせ、自他を尊重する態度を育てる。 ※水俣病学習の視点①、③	【知】 【価】

※人権教育を通して育てたい資質・能力

【知】 知識的側面 【価】 価値的・態度的側面 【技】 技能的側面

第6学年 人権学習（中心的指導）年間指導計画

1 学年目標

身の回りの問題や差別を見抜き、自分のこととして考え、進んで解決していく子供を育てる。

2 重点努力目標 【(知) 知識的側面 (価) 価値的・態度的側面 (技) 技能的側面】

- 水俣病差別や部落差別の現状を正しく理解し、あらゆる差別を許さないことの大切さが分かっている。(知)
- 自分と互いのよさを認め高め合い、明るく心で生活しようとしている。(価)
- 互いの考え方や立場の違い、個性を認め合い、偏った見方や差別をせずに、誰に対しても平等に関わることができる。(技)

3 人権学習年間計画

月	主題名	教材	時間	領域	ねらい	資質・能力
5・6 いじめ 根絶 月間	身の回りの差別	身の回りの差別について考えよう	1	学活	・身の回りに起こっている差別事象に対し、それを許さず、解決しようとする態度を育てる。 ※水俣病学習の視点⑤	【知】 【技】
	つながる命	その思い受けついで	1	道徳	・生命のかけがえのなさを理解し、自分や友達の生命を尊重しようとする心情を育てる。 ※水俣病学習の視点①	【知】 【技】
	感染症・難病等をめぐる人権	あなたたちに伝えたいこと(きずな)	1	学活	・「ハンセン病」差別の実態と水俣病を重ね、差別に対する怒りを持ち、自分の思いを伝えようとする意欲を育てる。 ※水俣病学習の視点③、⑤	【知】 【技】
	公正、公平、社会正義	一つ手前の停留所(きずな)	1	道徳	・自分のムラの停留所の一つ前で下りてしまった主人公の心情を通し、差別と偏見のおかしさを見抜き、自分の思いを安心して伝え合う学級にしようとする態度を育てる。 ※水俣病学習の視点⑤	【知】 【技】
11・12 人権 月間	公正、公平、社会正義	部落差別問題について考えよう	1	学活	・自分の出身地を語ることができなかった主人公の心情を通し、差別と偏見のおかしさを見抜き、水俣病と重ねて考え、出身地に自信と誇りを持って生きようとする態度を育てる。 ※水俣病学習の視点⑤、⑥、⑦	【価】 【技】
	人権集会	人権集会をしよう	1	学活	・人権集会を開き、自分のくらしと重ねて考え、自他の人権を大切にしようとする心情を育てる。 ※水俣病学習の視点②、⑤	【価】 【技】
2・3 水俣病 学習 月間	水俣の海を発信しよう 生き方から学ぼう	生き方から学ぼう	4	総合	・過去の苦しい体験を乗り越え、地域住民の一人として水俣の再生のために努力しようとする態度を育てる。 ※水俣病学習の視点①、⑥	【知】 【技】
	正しいと信じて	水俣病の教訓を生かそう	1	学活	・水俣病の患者さんに対する差別と偏見を許さない態度を育てるとともに、卒業後も水俣病を正しく伝え、自分の育った水俣を誇りに思いよさを発信しようとする態度を育てる。 ※水俣病学習の視点④、⑦	【知】 【技】

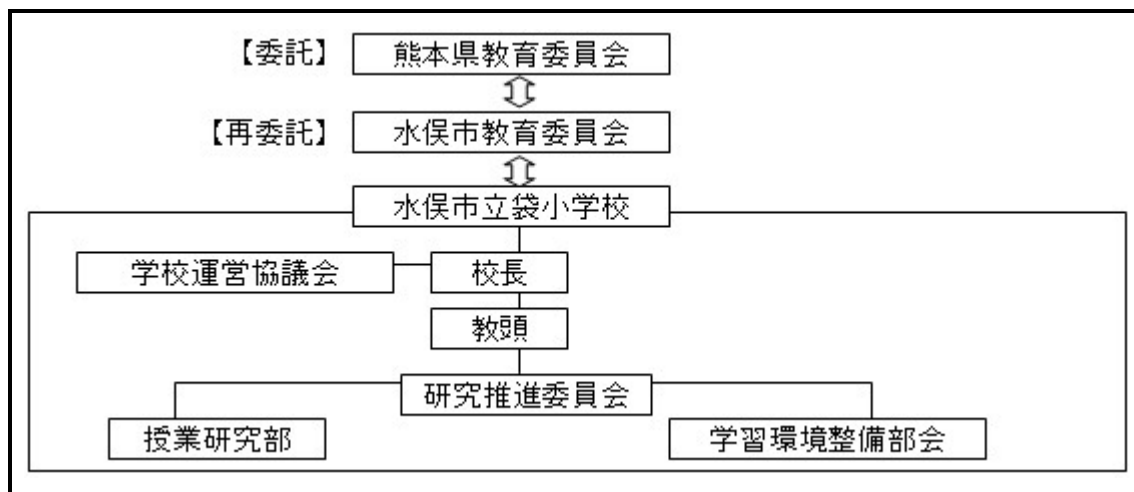
※人権教育を通じて育てたい資質・能力

【知】知識的側面

【価】価値的・態度的側面

【技】技能的側面

6. 推進体制（都道府県・指定都市教育委員会を含む）



人権教育全体計画

関係法令等

- ・日本国憲法
- ・教育基本法
- ・学校教育法
- ・同和対策委員会等
- ・第3期くまもと「夢への架け橋」教育プラン
- ・児童憲章
- ・子どもの権利条約
- ・熊本県人権教育啓発基本計画
- ・人権教育の指導方法等の在り方等について(第三次とりまとめ)
- ・人権教育推進資料
- ・熊本県教育大綱
- ・水俣市教育大綱
- ・県教育委員会各課取組の方向
- ・芦北教育事務所取組の方向
- ・水俣市学校教育三つの努力目標

学校の教育目標

夢に向かって挑戦し、自信と誇りをもつ子どもの育成
～ 一人一人が大切にされる人権尊重の精神に則った
教育活動を通して ～

人権教育の目標

自他を共感的に認め主体的に学び続ける児童の育成

本年度の重点目標

知識の側面(知)

○自他の人権を尊重し人権侵害を防止したり解決したりするために必要な実践的な知識の育成。

価値的・態度的側面(偏)

○多様性を肯定的に評価し、自分を肯定的に認めるとともに、他者を共感的に理解しようとする意欲や態度の育成。

技能的側面(技)

○互いの考え方や立場の違い、個性を認めながら、差別や偏見なく誰とでも対話等により関わることができる技能の育成。

児童の実態

○素直で明るく活動的であるが、時折、自己中心の言動をしたりすることがあり、思いやりのある言語環境の育成が必要である。

○人権問題に対する関心・意識は高いとはいえない。

○自尊心が低い児童もいる。

○水俣病多発地区であり、家族の中には水俣病患者がいるところもある。しかし、身近なこととして捉えていない児童が多い。

地域の実態

○部落差別(同和問題)をはじめとする様々な人権問題に対する認識は十分とは言えず、更なる啓発が必要である。

○水俣病をめぐる偏見・差別に対する問題はこれから啓発していく必要がある。

○昔からの地域のつながりはあるが、団地も多くさまざまな考え方があり、課題も多い。

各学年の重点目標(具体的な児童の姿)

低 学 年	中 学 年	高 学 年
○きめこまやかな関わり合いがとれている。(知)	○正しい知識をもと、差別や偏見に関わる問題について考える大切さが分かっている。(知)	○水俣病や部落差別の現状を正しく理解し、あらゆる差別を許さないことの大切さが分かっている。(知)
○自分のよさを認め、みんなと仲良く遊ぼうとしている。(偏)	○自分のよさを認め、仲間を大切にしようとしている。(偏)	○自分のよさを認め、仲間を大切にしようとしている。(偏)
○相手の立場や思いを受け止め、誰とでもやさしく声をかけることができる。(技)	○互いの考え方や立場、個性の違いにより、差別や偏見なく誰とでも関わることを意識している。(技)	○互いの考え方や立場、個性の違いにより、差別や偏見なく誰とでも関わることを意識している。(技)

各教科等における目標

国語 教材を通して感情豊かに表現する力を育成する。(技) 社会 社会について正しく理解し、民主主義の態度を育成する。(偏) 算数 論理的思考や合理的に考える力を育成する。(技) 理科 科学的な見方や考え、自然や生命を愛する心を養う。(偏) 生活 身近な人々とのかわりに関心をもち、自立の基礎を養う。(偏) 音楽 合奏や合唱を通して豊かな感性を養う。(偏) 図工 表現活動や鑑賞活動を通して豊かな感性を養う。(偏) 家庭 よりよい家庭生活のあり方に気づき、実践する力を育てる。(技)	体育 協調性・連帯性を育てる。(技) 外国語 表現力やコミュニケーション能力を育成する。(技) 道徳 差別や偏見に気づかせ、人間尊重の精神を育てる。(偏) 特別活動 学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事において、望ましい集団行動や人間関係について体験を通して学び、自他を尊重し社会に貢献する姿勢を養う。(技) 総合的な学習の時間 教科横断的な内容の学習や体験的活動を通して、課題を解決するための実践的行動力や豊かな人間性を養う。(技)	
---	---	--

教科外活動等(各校務分掌等の取組)

生徒指導	教育相談	進路指導	健康教育
○児童理解の深化 ○人権尊重の視点に立った個別指導の充実 ○健全な規範意識の育成	○問題傾向の早期発見 ○個別のカウンセリングの充実	○キャリア教育の充実 ○自己学習力の育成	○自他の命を大切にすることの育成 ○食育・給食指導の充実 ○安全教育的な取組

環境教育

○縦割掃除・ゴミ分別等の日常活動の充実
○学校版環境 ISO 活動の充実
○人権の花の取組

特別支援教育

○自立や社会参加に向けた支援
○教育的ニーズの把握
○適切な指導及び必要な支援

個別の人権課題への取組

○子どもの人権	○部落差別(同和問題)	○インターネットによる人権侵害	○水俣病をめぐる人権
---------	-------------	-----------------	------------

家庭・地域・関係機関等との連携

- 学校における人権教育の理解と啓発
- PTA等の活動との連携
- 地域の人権に関する取り組みとの連携

学校応援団

校種間の連携

- 袋地区保・小・中連携協議会
- 交流学習の充実
- 園長・校長会議

人権教育推進委員会

教職員研修

○人権問題を学び人権意識・人権感覚の高揚に努める。
 ○人権が尊重される学習環境づくり、人間関係づくり、環境づくりについての実践を交流する。
 ○人権尊重の視点に立った学級経営、生徒指導のあり方、授業づくりについての事例研究を行う。
 ○授業研究を通して、参加体験型学習の取り入れなど、指導方法等の工夫・改善を行う。

袋小学校 水俣病学習系統表

学習内容	水俣病の理解 (構造・歴史・苦しみ・怒り・生命・差別) ～資料をもとにして～	ふれあい活動 ～患者さんや家族の方に学ぶ～	関連学習・・・私たちの生活と環境 ～体験・調査・実践をとおして～
低学年目標	水俣病発生のしくみや原因を理解する。患者さんやその家族の悲しみや苦しみを知り、命の大切さを感じ取る。	交流をとおして、患者さんのこれまでの思いに触れたり、今の願いを知ったりして、理解を深める。	体験活動をとおして、身近な環境と触れ合い、自然や生き物を大切にしようとする態度を育てる。
1年	単元・題材名 資料、位置づけ ねらい、視点 「やくらんしやくとがつこうにいくと」 『きずな』 道徳1・学活1 水俣病発生の仕組みや水俣病で苦しんでいる人たちの悲しみや苦しみがかかる。[1][3]	ふれあい集会 (ほっとはうすのみなさん)と 水俣市環境学習資料集 学活1 患者さんの話を聞く中で、顔や名前を覚えてこれまでの経験を知ったりして、親しみを感じる。[1][2]	ひとつぶのたねから 「わくわくせいかつ上」 生活8 身近な植物に興味・関心をもち、それらに生命があることに気づき、植物を大切にしようとする。[1][4]
2年	単元・題材名 資料、位置づけ ねらい、視点 くるいねこ 『水俣病・授業実践のために』 学活1 水俣病により、多くの生き物が苦しみ死んでいったことを知る。水俣病発生のしくみを理解する。[1][3]	ふれあい集会をしよう (ほっとはうすのみなさん)と 水俣市環境学習資料集 学活1 一緒に遊ぶこととおして、患者さんの思いや願いを知り、互いに認め合っていることと心づくる。[2][5]	町のすてきをつたえ合おう 水俣市環境学習資料集 生活3 磯遊びを通して、生命や自然の大切さや自分の町の良さを感じる。[2][4]
中学年目標	患者さんやその家族の病気・差別や偏見に対する苦しみを理解する。水俣病の歴史的背景を知る。	体験談から、病気・偏見や差別の辛さを感じ取ったり、生き方の逞しさを感じ取ったりする。	人々の生活と環境の関わりを理解し、生命や自然を守るようとする態度を育てる。
3年	単元・題材名 資料、位置づけ ねらい、視点 おにいちゃん 『きずな』 総合1 胎児性水俣病の患者さんやその家族が、病気・差別・偏見に立ち向かっている姿を知る。[1][3]	水俣の自然 (海・山) を守ろう！ 総合4 水俣病患者さんの思いや願いを聞き、自分たちができることを考える。[1][5]	ここがすごいぞ！袋じまん1・2 総合3・0 自分たちが住んでいる身近な地域について、特色や良さを味わい、大切にしようとする心づくる。[4][7]
4年	単元・題材名 資料、位置づけ ねらい、視点 水俣に大きな工場ができて 『水俣病・授業実践のために』 学活1 チッソ工場の歴史と水俣の海の変化を知り、患者さんとその家族の差別や偏見による辛さを感じる。[3][5]	“2001・水俣ハイヤ節”の心 「うみと月と星の会」の方のお話 総合3 “2001・水俣ハイヤ節”に込められた思いを知り、その心を胸で伝えよう。[1][2][7]	ごみの処理と利用 水俣市環境学習資料集 社会1 ごみの処理と利用についての学習を振り返り、すみよくらしを作るために、自分たちにできることを考えよう。[5][6]
高学年目標	水俣病に対する差別や偏見を許さず、それに立ち向かおうとする態度を育てる。	その人の生き方に目を向け、偏見や差別をはねのけ、強く逞しく生きていく力を養う。	環境破壊の現実を見つめ、環境保全に努め、また、それを発信していこうとする態度を育てる。
5年	単元・題材名 資料、位置づけ ねらい、視点 この子とともに 『きずな』 学活1 水俣や水俣病に対する差別や偏見の事象をとおして、差別に立ち向かおうとする態度を育てる。[5][6]	生き方から学ぼう (語り部の方から) 水俣に学ぶ肥後っ子教室 総合5 水俣病の苦しみに負けずたくましく生きる尊厳と、水俣病に対する認識を深め、自分の生き方へとつなげる。[6]	命や環境を守りながら暮らしている袋の人に学ぼう 総合15 水俣再生の取り組みを調べ、学んだことから、水俣市民として何ができ、何をすべきかを考える。[4][6][7]
6年	単元・題材名 資料、位置づけ ねらい、視点 水俣病の教訓を生かして 『心ゆたかに水俣』 学活1 水俣病の患者さんに対する差別と偏見を許さない態度を育てるとともに、卒業後も水俣病を正しく伝えていく認識を育てる。[3][5]	生き方から学ぼう (地域の方から) 『心ゆたかに水俣』 総合4 過去の苦しい体験を乗り越え、地域住民の一人として水俣の再生のために努力していこうとする態度を育てる。 [1][2][6]	水俣の海を発信しよう 水俣市環境学習資料集 総合25 水俣の豊かさ (自然・心・出来事) を発信していく活動を通して、故郷を愛し、故郷に誇りを持って生きていこうとする態度を育てる。[4][6][7]

★水俣病学習の視点 [1]生命尊重 [2]集団づくり [3]知的理解 [4]環境保全 [5]人権感覚 [6]実践力 [7]発信力